

# クサギ (アマクサギ)

[木本] 《忌避》



林縁や道ばたに普通にある。



ちぎると臭気がある。



果期。

## 区別のポイント

葉に臭気がある。果期には萼片が5深裂して紫紅色になる。果実は藍色。葉を山菜として利用。

**形態** 落葉小高木。樹高は1～3メートル。低地や山地に普通に見られる。

**分布** 九州（南部）・沖縄（アマクサギ）

**名前の由来** 葉に臭気があることから。

**葉** 〈全体〉三角状心形または広卵形、長さ8～20 cm。

〈付き方〉対生。

〈葉柄〉5～10 cm。

〈基部〉円形。

〈葉先〉次第に細くなる。

〈縁〉不規則な浅い鋸歯または全縁。

**備考** 匂い成分。

**出典** 1